

# 令和4年度 学校評価

学校名 | 北海道滝川工業高等学校

組織名	学校評議員会
評 価 者	
学校評議員	

## 1 学校教育目標

- (1) 健やかな身体と強い意志を育てる
- (2) 確かな学力と豊かな心を育てる
- (3) 創造的な技術能力と勤労の態度を育てる

## 2 本年度の重点目標

- (1) 授業を大切にし、基礎的・基本的な学力を身につける
- (2) 自他の生命や人格を尊重し、集団生活における役割や責任を果たす
- (3) 目標をもち、心身とも健全な生活をおくる

※学校関係者評価基準      A=5：充 分      B=4：適 当      C=2：不 充 分      D=1：要 検 討

## 3 自己評価結果

分 野 ・ 領 域	評 価 項 目	達成 状況	取 組 の 適 切 さ	改善の方策	自己評価 結果内容 の適切さ	取 組 の 適 切 さ	改善に向 けた取組 の適切さ			
教育目標	1 学校教育目標等について教職員の共通理解が図られている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価の活用推進</li> <li>・職員評価制度の活用推進</li> <li>・職員研修の活用推進</li> <li>・校務内規の不断の見直し</li> </ul>	A	A	A			
	2 学校教育目標の実現に向けた取組が行われている。	A	A					(5.0)	(5.0)	(5.0)
関係者評 価者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長、教頭の姿勢からも全教職員に伝わっていることがわかる。学校教育目標の充実に向けた取り組みに期待する。</li> <li>・今後も工業高校の理解向上に教職員の擬人力をお願い致します。</li> <li>・評価はA評価であるが、教育目標への取り組みが学校や生徒より、保護者のほうがあまり十分でないことが残念です。</li> </ul>									
学習指導	3 生徒の実態や学科の特色を活かした教育課程の編成に努めている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の不断の改善</li> <li>・ICT機器の活用と授業改善の推進</li> <li>・授業規律の徹底と学習習慣の確立</li> <li>・朝学習を活用した礎学力の定着</li> <li>・測定ツールを用いた学力定着度合いの測定と補習等の学カケアの充実</li> </ul>	A	A	A			
	4 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに学習習慣の確立に努めている。	A	A					(5.0)	(5.0)	(5.0)
	5 学習意欲を高め主体的に学ぶための教科指導の充実と、評価の工夫・改善に努めている。	A	A							
関係者評 価者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外勤務が過酷とならないように、もっと同窓会の協力を活用しては如何か。</li> <li>・コロナ禍による感染防止の観点から困難であろうか。</li> <li>・生徒一人ひとりの学習について指導しているところが評価できる。</li> <li>・教育支援委員会の有益な取り組みを期待しております。</li> <li>・概ね良好</li> </ul>									
生徒指導	6 基本的生活習慣の定着と規範意識の醸成を図り、生命と人間尊重の精神を育むように努めている。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員による一貫した指導の推進</li> <li>・組織的計画的生徒指導の確立</li> <li>・基本的生活習慣の確立</li> <li>・安全教育の推進</li> <li>・生徒理解と教育相談の充実</li> <li>・子供理解支援ツールの有効活用</li> </ul>	A	A	A			
	7 自他の安全・安心を確保するための資質や能力を育てている。	A	A					(4.75)	(5.0)	(5.0)
	8 一人ひとりの生徒を大切に、生徒理解に基づく指導の充実を図っている。	A	A							
関係者評 価者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な生徒に対するフォロー体制の構築をお願いします。</li> <li>・概ね良好</li> </ul>									
いじめへの 対策	9 教職員、家庭との連携を図り、未然防止・早期発見に向けた観察やアンケート、教育相談を推進している。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒理解と教育相談の充実</li> <li>・いじめ対応の組織的取組</li> </ul>	A	A	A			
関係者評 価者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね良好</li> </ul>									
学校行事 課外活動	10 学校行事の検討を通して活発な生徒会活動の推進と生徒の精神的成長を目指している。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事内容の改善充実</li> <li>・委員会活動の活性化</li> <li>・コロナ後の部活動等の精選と活性化</li> <li>・リーダー研修等による自主性の充実</li> </ul>	B	B	B			
	11 部活動の活発な活動を推進している。	C	B					(4.25)	(4.0)	(4.4)
関係者評 価者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数の増加が必要です。</li> <li>・コロナ禍により1年生の運動部の部活動の加入率が低かったと聞く。</li> <li>・これからは体育系以外（工業高校特有）の部活を推進するとか、働き方改革を踏まえ先生方の負担の少ない時間でいける部活動や課外活動を検討しては如何か。</li> <li>・概ね良好</li> </ul>									

進路指導	12 自己を理解し進路について自ら考え積極的に行動できる生徒を育てる進路指導に努めている。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を見通した計画的進路指導の推進</li> <li>・進路情報の収集</li> <li>・進路開拓の推進</li> <li>・情報提供の工夫と進路意識の醸成</li> <li>・インターンシップの充実</li> <li>・異校種・産学連携の推進</li> <li>・キャリアサポートの活用推進</li> </ul>	B	B	B
	13 地域連携を推進し、体験的、実践的な学習を通して望ましい勤労観、職業観を育成している。	B	B				
	14 生徒が主体的に進路選択ができるように情報収集・発信に努め、保護者・生徒・教師の相互理解を図っている。	B	B				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度進路状況によると、良好に推移している。</li> <li>・工業高校生は地域の大切な財産です。進路実現に向けた指導を今後もお願い致します。</li> <li>・概ね良好</li> </ul>						
健康安全指導	15 健康保持への意識を高め、疾病予防、健康増進への態度を育てている。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の工夫改善</li> <li>・安全教育の推進</li> <li>・危機管理マニュアルの不断の見直し</li> <li>・感染症対策の一層の徹底</li> <li>・関係機関との連携</li> </ul>	A	A	A
	16 生徒の生命安全を第一に考えた防災意識の高揚に努めている。	A	A				
	17 生徒のメンタルケアに努め、安定した学校生活を目指している。	B	A				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察署や消防署の講師要請、市役所総務部危機対策室との連携は如何か。</li> <li>・概ね良好</li> </ul>						
研修	18 校内外の研修を活用し、教育環境の変化や生徒指導に係る研修・研究を行っている。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的な校内研修の充実</li> <li>・校外研修の推進と研修成果の還元</li> </ul>	B	B	B
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的な事（授業・教科）についての研修が大切。</li> <li>・今後とも校内外の研修・研究に努めてほしい。</li> </ul>						
組織運営 保護者、地域住民等との連携	19 共通意識を図り、協働体制の強化に努め、明るく活気のある職場づくりを推進している。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内組織間の情報共有化</li> <li>・互いに話しやすい環境、互いに協力し合う職場づくりの推進</li> <li>・働き方改革のより一層の推進</li> <li>・部活道指導等、業務の見直し</li> <li>・PTA活動の充実</li> <li>・HP等情報発信の工夫改善</li> <li>・地域・保護者との連携の充実</li> </ul>	B	B	B
	20 北海道アクションプランを意識して、働き方改革を推進している。	B	B				
	21 教職員自身がメンタルケアや健康管理に務め、充実した教育活動が出来る職場環境づくりを推進している。	B	B				
	22 PTA活動・同窓会活動の促進に努めている。	D	C				
	23 学校の教育方針や教育活動について積極的に発信し、本校の教育活動への理解と協力が得られるよう努めている。	B	B				
	24 ボランティア活動や各種行事へ積極的に参加し、地域や家庭の期待に応えている。	D	D				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記載されている改善策が必要。</li> <li>・3年間、PTAの学校行事等への関わりが無くなっています。新たな連携の仕組み作りが必要。</li> <li>・小学校、中学校から毎月1回、町内回覧が届くが工業高校からは無い。情報発信手段として復活できないだろうか。</li> </ul>						

※自己評価 評価基準 A=5：充分である B=4：概ね充分である C=2：不十分である D=1：改善を要する

#### 4 学校関係者評価におけるご意見等

- 何十人と入社している企業でも、滝川工業高校卒業生はとても良いと言っている。今後も、仕事に打ち込む優秀な生徒であってほしい。
- 学校の評価は難しい。学校教育は、他の企業、団体、機関、組織や保護者との連携が必要である。（工業高校は、企業、滝川市、滝川警察署との連携を行っているが）また、働き方改革も課題であり大変であろう。
- 生徒の減少など、学校の存続も今後の大きな課題であるが、先生方には、今後とも引き続き高校教育、進路指導に取り組んでほしい。
- 滝川市ICT農業利活用協議会と工業高校との連携を通じて、教員の皆様の生徒への指導の熱意と、生徒の成長を感じることが出来ました。